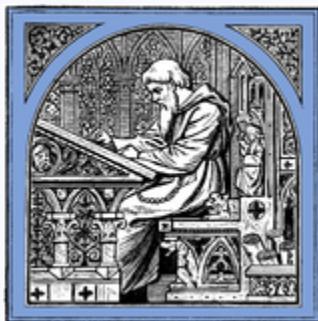


小亞細亞横斷旅行談 01.pdf/12



2024年9月7日にウィキソースから書き出されました。

このページは校正済みです

論 說 (小亞細亞橫斷旅行談)

したり研究して今日は一般に知れ渡るやうになりました、之を見る爲に態々或は小亞細亞の西海岸の方から歐羅巴人の旅行者が皆な此所まで踏込んで來う云ふホテルが出来ました、イヴリーズのヒチツトの古跡は此の寫眞でありの上に極く薄肉彫りに彫刻してあるので此所に二人の姿があります、左の大きい方は神に禮拜をして居る坊様であります、此の神はヒチツトの特有なる云ふ形の帽子を被つて、居り、又足には是もヒチツト特有のつま先きの上へて居ります、さうして手に葡萄を持つて居る、それから足の下に鋤のやうなれは土地の神様で、即ち農産物を人民に與へると云ふ意味のものであるだります、此所にヒチツト文字が三ヶ所にありますがそれは未だ十分に讀めなす、兎に角非常に珍しい面白いものであります。

此邊には例のチエルケス人が多く住んで居ます、彼等は非常に貧慾で足るですタウルス越の山中のハンでは野宿全様なアバラ家を一夜供給して五ピア錢)を取ります、支那内地ならば五十文(七錢位)も要らない處です、然るピアストルを請求し、その外湯代薪代まで請求する所もあります。或る獨乙ルス山中で例の乞食小屋以下の宿へ泊つて、ホテル並の宿賃を請求され、散を費したことが書てありました、(未完)

一一二(12)

土耳其の内地から、
其の爲に近頃斯
る、(寫真略す)岩
ます(寫真略す)岩
ぎい方は神で右の小
烏帽子のやうな斯う
反り上つた靴を穿い
物を置いて居る、そ
うと云ふ想像であり
と云ふことでありま
こと^三を知らないの
ストル(我が四十二
にこちらでは或は十
一人の紀行にも、タウ
々に争つて大に時間

1. ↑原文では「こと」の合略仮名

About this digital edition

This e-book comes from the online library [Wikisource](#)^[1]. This multilingual digital library, built by volunteers, is committed to developing a free accessible collection of publications of every kind: novels, poems, magazines, letters...

We distribute our books for free, starting from works not copyrighted or published under a free license. You are free to use our e-books for any purpose (including commercial exploitation), under the terms of the [Creative Commons Attribution-ShareAlike 3.0 Unported](#)^[2] license or, at your choice, those of the [GNU FDL](#)^[3].

Wikisource is constantly looking for new members. During the realization of this book, it's possible that we made some errors. You can report them at [this page](#)^[4].

The following users contributed to this book:

- Wicklo
- CES1596

1. [↑https://wikisource.org](https://wikisource.org)
2. [↑https://www.creativecommons.org/licenses/by-sa/3.0](https://www.creativecommons.org/licenses/by-sa/3.0)
3. [↑https://www.gnu.org/copyleft/fdl.html](https://www.gnu.org/copyleft/fdl.html)
4. [↑https://wikisource.org/wiki/Wikisource:Scriptorium](https://wikisource.org/wiki/Wikisource:Scriptorium)